

事業番号	04 02 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	文化芸術振興事業	部局	県民文化部	課・室	文化振興課				
		実施期間	S44 ～	E-mail	bunkashinko @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・人口減少による文化芸術活動の担い手の不足や、自然災害、新型コロナウイルス感染症などを受け、文化芸術の歩みを止めないための仕組みづくりや意識の醸成が必要
- ・多様性を認める社会づくりや地域の魅力・活力の向上に向けて、文化芸術が果たす役割への期待が高まっている

2 事業目的

- 「長野県文化芸術振興計画」に掲げる以下のめざす姿を実現する
- (1) 誰もが文化芸術と触れあい、心豊かに暮らしている
 - (2) 文化芸術があらゆる分野に根つき生かされている
 - (3) 文化芸術活動や伝統文化が地域で支えられ、その価値が引き継がれている

3 事業目的を達成するための取組

- ①「長野県文化芸術振興計画」に基づく施策を展開
- ・地域における文化芸術活動を支援するため、信州アーツカウンシルによる助成、相談・助言、様々な主体との連携・協働等を実施
 - ・児童生徒の主体的な学びの機会を創出するため、アートの手法を活用した学びを教育現場において取り入れられる環境づくりを推進
 - ・県民に世界水準の音楽を提供するため、セイジ・オザワ 松本フェスティバルを共催
- ②県立文化施設の管理運営
- ・県立文化施設（文化会館、創造館、美術館）の指定管理
 - ・県立美術館における企画展等の展開、交流・学習事業の実施
 - ・県立文化施設の計画的な施設改修
 - ・県立美術館美術品の取得

4 成果指標

（推移の凡例 ㇏：改善 ㇎：悪化 ➡：変化なし ー：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	信州アーツカウンシルの連携・協働・協力団体数	団体	84	100	↗	105	↗	100	達成	信州アーツカウンシル事業の面的な広がりを目指して、年度ごとの連携・協働団体等を目標値として設定
②-1	県立文化会館ホール利用率	%	64.8	60.6	↘	60.1	↘	70	未達成	文化会館の職員体制等を踏まえ、ホールが最大限稼働している状況として目標値を設定
②-2	県立美術館の企画展・常設展観覧者数	人	214,075	158,192	↘	306,597	↗	278,000	達成	令和7年度に予定している企画展の内容等を踏まえ、目標値を設定（目標値は企画展の内容に基づき各年度ごとに設定）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-2①	文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用	☆信州アーツカウンシルの支援等団体数	団体	2023 (R5)	218	2024 (R6)	266	2025 (R7)	305	2027 (R9)	350

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	2,309,518	211,672	2,521,190	2,179,403	2,456,597	8.5
R6年度	0	2,014,144	120,352	2,134,496	1,651,353	2,127,336	10.0
R5年度	0	1,840,389	144,495	1,984,884	1,485,057	1,975,633	8.0

事業番号	04 02 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	文化芸術振興事業		部局	県民文化部	課・室	文化振興課			

7 主な取組実績と成果

①「長野県文化芸術振興計画」に基づく施策を展開

- ・文化芸術活動の中間支援を行う「信州アーツカウンシル」により、50の文化芸術団体に助成を行うなど、305団体に支援を行った。
- ・児童生徒の主体的な学びの機会を創出するため、アートの手法を取り入れたプログラム展開として、9校でのプログラムの実施、教員向けワークショップの開催（全3回）等を行った。
- ・セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催を通じて、「子どものための音楽会」を8回開催する等により、県民が世界水準の音楽に触れる機会を創出した。

②県立文化施設の管理運営

- ・県立文化施設5館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、佐久創造館、県立美術館）を指定管理により運営した。
- ・県立美術館において、企画展5回、コレクション展を10回開催するとともに、移動展2回・交流展1回の開催や、スクールプログラム（学校団体鑑賞）の実施や、障がいのある方のための特別鑑賞日の開催等、交流・学習に資するプログラムを実施した。
- ・県立美術館で所蔵する美術品30点を取得した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州アーツカウンシルの連携・協働・協力団体数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
信州アーツカウンシルの自主事業の実施等を通じて様々な団体との連携・協働を行ったため、目標値を上回った。							
指標②-1	県立文化会館ホール利用率	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
利用者数については増加したものの、利用率については地域の芸術文化団体の高齢化等に伴う活動縮小、工事における一部施設の貸館停止等の影響もあり、目標としているコロナ前の水準までは回復していない。							
指標②-2	県立美術館の企画展・常設展観覧者数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	達成
全国で人気を博している巡回展や周年事業の企画展等の開催により、目標を上回る観覧者の来館があったため、目標値を上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和4年の設立から5年目となる「信州アーツカウンシル」の中間支援機能を高めていくために、認知度の向上や連携・協働のさらなる拡大等を図っていく必要がある。
- ・県における様々な施策に文化芸術を織り込む方策について検討していく必要がある。
- ・教育現場における文化芸術を活用した学びを広げるには、プログラムの実施校を拡大していくとともに、持続可能な事業の仕組みを検討していく必要がある。
- ・県内唯一の広域的な機能を担う美術館として、県立美術館において、全ての県民が美術に触れる機会を創出していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・信州アーツカウンシルにおいて、助成プログラム等による文化芸術活動支援を継続していくとともに、これまで助成を受けた団体が、新たに支援する側としてアーツカウンシルに参画・協働する仕組みを構築し、支援の輪を広げていく。また、事業団、県、文化施設等が連携し、文化芸術活動の担い手等と協働して実施する分野や地域の枠を超えた事業を展開していく。
- ・「アートの手法を活用した学び」推進事業において、各プログラム（「表現とコミュニケーションプログラム」と「対話を通じた鑑賞プログラム」）を継続して実施していくとともに、一部は専門の事業者へ委託し、より充実したプログラム内容を教育現場で実施してもらう。
- ・県立美術館において、企画展やコレクション展を充実させていくとともに、誰にでも開かれた美術館として、地域へのアウトリーチや、インクルーシブ・プロジェクト等の交流・学習事業を実施していく。

事業番号	04 02 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ■点検		
事業名	文化芸術振興事業	部局	県民文化部	課・室	文化振興課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	芸術文化活動推進事業		431,016 千円	431,475 千円	456,396 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州アーツカウンシル事業	負担金	文化芸術活動の中間支援機能を担う「信州アーツカウンシル」による助成、相談・助言や、様々な主体との連携・協働による人材育成等を支援 助成件数50件		
2	アートの手法を活用した学び推進事業	直接	アートの手法を活用した学びの教育現場への導入を推進し、子どもたちのコミュニケーション能力、創造力、他者理解や自己肯定感の向上を支援 アートの手法を活用した学びのプログラム実施校9校		
3	東京藝術大学連携事業	負担金	東京藝術大学と連携してアートの力で創造性を育む取組を実施 アーティスト・イン・レジデンスの実施1地域		
4	文化芸術情報発信力強化事業	負担金	文化芸術情報発信サイトによる一元的な情報発信 特集記事の掲載10本		
5	信州アーティスト活動促進事業（next事業）	直接 負担金	長野県ゆかりの芸術家を目指す者を対象に、活動情報を発信するとともに、文化施設等での発表の場を提供する 新規登録21件		
6	佐久創造館共同・連携制作支援事業	負担金	佐久創造館の指定管理者が実施する文化芸術活動を支援 小中学生の合唱活動25回、能楽講座12回		
7	県民芸術祭の開催	直接 負担金	県民芸術祭に参加する芸術団体に対して事業費の一部を負担、県民コンサートの開催等 負担金支出32団体		
8	地域創造負担金	負担金	（一財）地域創造への負担金を拠出 （一財）地域創造による県内市町村への助成3件		
9	セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催	負担金	県民に世界水準の音楽を提供するためセイジ・オザワ 松本フェスティバルを共催（共催負担金1億円） 「子どものための音楽会」開催8回		
10	伊那文化会館芸術鑑賞促進事業	負担金	南信地域の文化振興を図るため、チェロアンサンブルコンサートを実施 公演開催1回		
11	山岳文化創生事業	負担金	信州の山岳文化創生会議による様々な山岳文化情報の発信 山岳文化に関連した講演会の開催2回		
12	文化芸術政策に係る有識者による意見交換	直接	文化芸術政策について、一定のテーマに基づいた有識者による意見交換を実施 意見交換の実施1回		
13	県立美術館広報用リーフレット等の作成	直接	県立美術館を国内外にPRするリーフレットを作成 前年度までの残部を有効活用したため作成せず		
14	文化振興基金の積立	その他	・文化振興基金運用益の積立 ・文化振興基金の積み増し 積立金額 200,140千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	文化施設管理運営事業		1,544,617 千円	1,695,861 千円	2,000,201 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	文化施設指定管理料	指定管理	県立文化会館、県立美術館、創造館の管理運営 対象施設 5 館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、県立美術館、佐久創造館）		
2	県民文化会館・ウィーン楽友協会姉妹提携事業	指定管理	県民文化会館とウィーン楽友協会との姉妹提携に基づき、ウィーンから演奏家を招へいし、演奏会や音楽セミナー等を実施 演奏会の開催 5 回		
3	文化施設 E S C O 事業	委託	松本文化会館における省エネルギー対策等を実施 対象施設 1 館（松本文化会館）		
4	県立文化施設指定管理者選定会議の開催	直接	次期指定管理者を選定するための選定会議の開催 対象施設 1 館（県立美術館）		
5	県立美術館協議会の開催	直接	美術館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるため、美術館協議会を開催 開催回数 1 回		
6	美術品収集に係る外部有識者からの意見聴取	直接	美術品の取得にあたり、外部有識者から美術品の評価に関する事項について意見を聴取 意見聴取 1 回		
7	文化施設改修事業	直接	文化施設の改修工事の実施（財産活用課一括計上事業以外） ○ 県民文化会館：屋外トイレ等改修工事 ○ 県立美術館：水景改修工事 ○ 佐久創造館：自動火災報知設備更新工事 改修工事 3 か所		
8	飯田創造館除却事業	直接 委託	令和6年度末閉館の飯田創造館について、建物の除却・整地、利用者の新たな活動場所への備品等の移設などを実施 飯田創造館の閉館		
9	南信州広域連合文化芸術活動支援センター運営補助事業	補助金	飯田創造館利用者の活動継続のために設置される南信州広域連合文化芸術活動支援センターの管理運営費の一部を補助 補助件数 1 件		
10	県立美術館の美術品取得	直接	美術館で収蔵する美術品を取得 美術品取得30作品		